

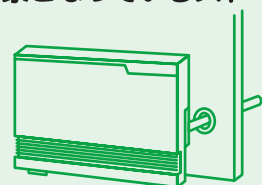
石油ストーブ



省エネルギーについて

省エネ法の特定機器は、ガスストーブでは「密閉式」、石油ストーブでは「密閉式」、「半密閉式」が対象になっています。一般的にストーブでは、エネルギー消費効率が100%に近いほど省エネルギー性の高い機器と言えます。

省エネ法の対象となっているストーブの例

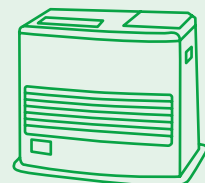


FF 暖房機（密閉式強制滞留式）

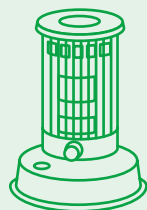


煙突式（半密閉式） 石油のみ

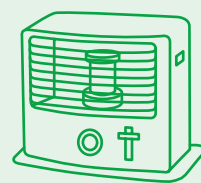
省エネ法の対象外のストーブの例



強制滞留式



自然滞留式



放射式

石油ストーブにおける省エネラベルの示す内容

省エネ基準達成率が大きいほど省エネ効果大

省エネ法で定められた算定式によるエネルギー消費効率が示されている



目標年度2006年度

省エネ基準達成率
102%

エネルギー消費効率
(%)
88.0

暖房の目安

「暖房の目安〇畳～〇畳」は、室内外温度差15℃の温暖地（東京・大阪など）での広さの目安です。
なお、室内外温度差30℃の寒冷地（札幌など）の木造住宅は二重窓と断熱材が施されており、目安となる広さが大きくなります。

石油ストーブ省エネ基準

- ・ 目標年度：2006年度
- ・ 対象形式：密閉式、半密閉式
- ・ 達成率算出方法

$$X = E / EM \times 100$$

$$X: \text{省エネ基準達成率}(\%)$$

$$E: \text{エネルギー消費効率}(\%)$$

$$EM: \text{基準エネルギー消費効率}(\%)$$
- ・ 基準エネルギー消費効率
 給排気方式：密閉式

$$EM = 83.5(\%)$$

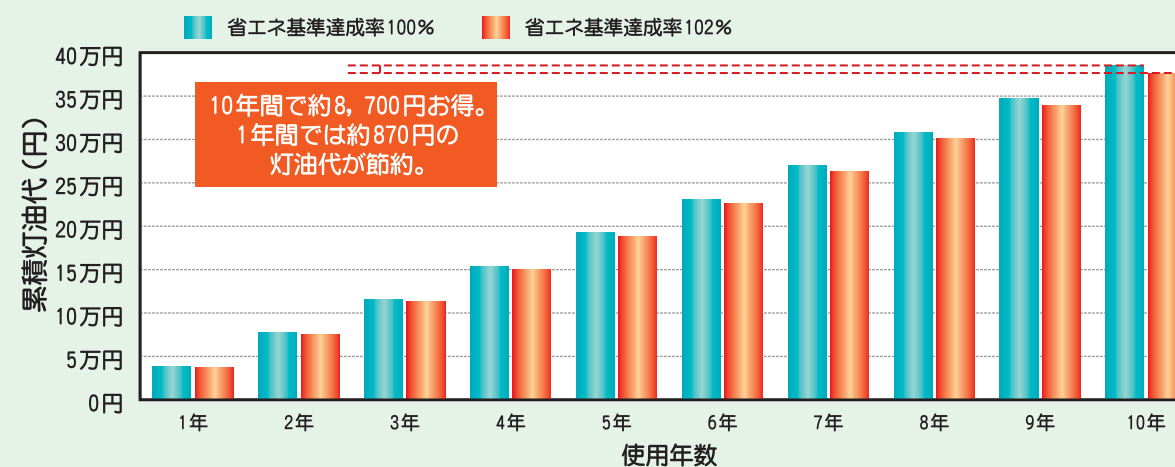
 給排気方式：半密閉式

$$EM = 69.0(\%)$$

省エネ効果の高い石油ストーブのお得度

省エネ基準達成率102%の石油ストーブを10年使い続けると、達成率100%のものに比べ灯油代は約8,700円お得になります。

D社の省エネ基準達成率100%と102%の石油ストーブ（木造11畳、強制対流式）の使用年数と累積灯油代の比較



データ出典：メーカーカタログによる

省エネ基準達成率102%と100%の石油ストーブの比較

	年間灯油消費量 (L/年)	10年間の灯油代 (円)	CO ₂ 排出量 (kg)
① 達成率100%	724.0	385,329	18,042
② 達成率102%	707.6	376,600	17,633
差(②-①)	-16.4	-8,729	-409

- ・ 灯油代は目安として18Lあたり958円と設定（「石油情報センター」灯油（店頭）価格H16年度全国平均）
- ・ CO₂排出量（2.492kg-CO₂/L：「環境省事業者からの温室効果ガス排出量算定ガイドライン」：H15年7月）
- ・ 樹木CO₂吸収量（13.9kg-CO₂/本・年：50年もの杉、樹高22m、直径26cmとして、地球温暖化防止のための緑の吸収源対策、環境省/林野庁より）

石油ストーブ1台に対し達成基準2%の差でも、50年もの杉約3本のCO₂削減量に匹敵します！



商品を奨める上でここをよく押えましょう！

- 気象条件や建物の構造・部屋の広さなど使用条件をよく把握し、条件に適したものを奨めましょう。
- 石油ストーブも「省エネラベリング制度」の対象機種です。省エネラベルを活用して各商品の省エネ程度を説明し、省エネ基準の達成度が高い商品を奨めましょう。
- 今、使っている製品があれば、最新機種と比べてどのくらい省エネで、結果的に灯油代がどの程度安くなるかを説明しましょう。



省エネ効果を発揮させるため上手な使い方を教えましょう！

- 設定温度は20℃を目安にしましょう。
- お出かけや就寝の15分くらい前に切り、うまく余熱を利用しましょう。
- 省エネ性能を維持するために、フィルターに詰まったゴミやホコリは定期的に掃除しましょう。
- カーテン・ブラインドで窓からの熱が逃げるのを防ぎましょう。昼間はカーテン・ブラインドを開けて日射を入れ、日没前に閉めるなど、自然の熱を利用しましょう。